

物語文を読んでえらぼう

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 補欠のピアノを よんで、そのときの千夏的心情を1つえらびましょう。

コンクールの 伴奏者に、親友の 里穂が えらばれた。自分も 練習を 重ねてきた 千夏は、くやしさを かくして「おめでとう」と言った。けれど 家に 帰り、だれも いない 部屋で 鍵盤に ふれたとき、こみ上げる ものを おさえきれなかった。

1 里穂を心から祝う晴れやかな気持ち。

2 表では言えなかったくやしさがあふれてきた。

3 ピアノをやめようという決意。

4 里穂への怒りしかない気持ち。

2 祖父の時計を よんで、拓也がきっぱり答えたのはなぜですか。1つえらびましょう。

亡くなった 祖父の 古い 時計を、修理に 出すか まよっていた 拓也は、店の 人から「まだ 動きますよ」と言われた。とたんに、時計を のぞきこんで いた 祖父の 横顔が 思い出され、拓也は「なおしてください」ときっぱり 答えた。

1 時計が高く売れると思ったから。

2 祖父との思い出を大切にしたいと感じたから。

3 新しい時計がほしくなったから。

4 店の人にせかされたから。

3 最後のリレーを よんで、そのときの翔の心情を1つえらびましょう。

小学校 最後の 運動会。バトンを わたした 瞬間、翔は つまずいて 転んだ。立ち上がった ときには、もう 順位は 大きく 下がっていた。それでも、ゴールで 待つ なかまの 顔を見た とき、なぜか 胸に あたたかい ものが 広がった。

1 順位が下がって、なかまをうらむ気持ち。

2 転んだ自分をせめ続ける気持ち。

3 仲間とやりきれたことに満たされる気持ち。

4 早くこの場から消えたい気持ち。